

農場通信 2023年 5月号

2023/4/25

トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！



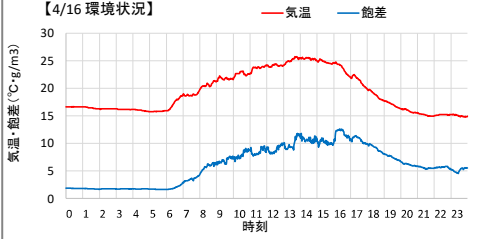
① 圃場 ハウス ② 試験内容

③ 開始日 ④ 終了予定

① 第4 A ② ココバッグ展示栽培

③ 2022/8/30 ④ 2023/7月下旬

品目	圃場写真①	圃場写真②
■ 栽培中 ■ 栽培準備中 ■ 今月最終		
直近の環境データ・管理方法(晴天日) ※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています		今月の状況 と 今後の管理

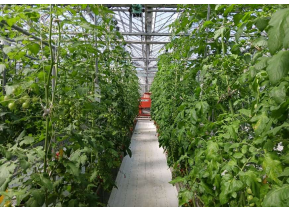

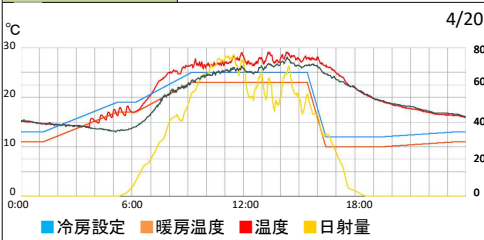
大玉トマト		
【4/16 環境状況】		品種は例年通り桃太郎ホーpxアシスト接木4年目と新品バッグでの生育比較、『ハーフ』バッグの比較展示も行っています。 4月時点の、日平均気温約18.5℃、DIF6.0程度、灌水量1800ml/株程度、排液率20%前後。草勢は引き続き強い状態を維持して玉肥大も良い。日射比例で灌水制御しているため、冬から春にかけての灌水量増加がスムーズにできている。4月14日に入ったら遮熱塗料(トランスパー)を塗布し、遮光カーテン無しでも涼しく感じます。


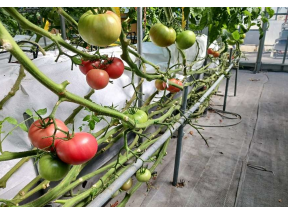
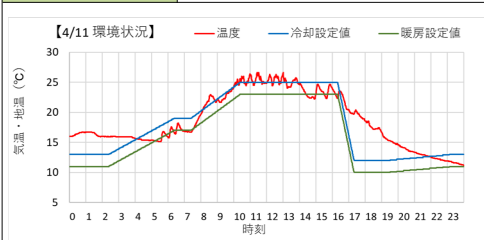
① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験

③ 2022/7/25 ④ 2023/6月

① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験

③ 2022/7/25 ④ 2023/6月

ミニトマト		
【4/20 環境状況】		現在、開花は29~31段目になりました。若干芽先が細くなっている品種が増え始めました。樹の疲れや着果負担、給液不足などが考えられます。今後、給液不足や萎れに注意して管理を行います。 給液は日射比例制御、晴天時は約2000cc、給液ECは1.6前後、排液率20~30%になるよう調整しています。

大玉トマト		
【4/11 環境状況】		15.16段目の収穫中です。日射が強くなってきたので灌水量の増やし遅れに気を付けています。天気の悪い日の翌日は遮光を積極的に入れて対策しています。 給液量は、プロファーム(日射比例)で制御、晴天時で1600ml/株、ECは1.7、排液率20~30%になるよう調整しています。



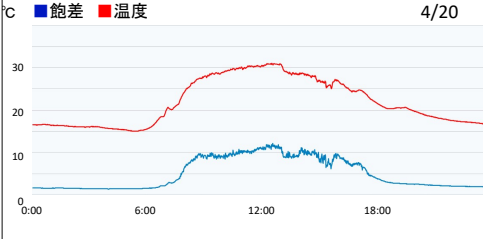
① 第4 D ② アールスメロン品種比較試験

③ ④

① 第4 E ② ベンチ・品種比較試験



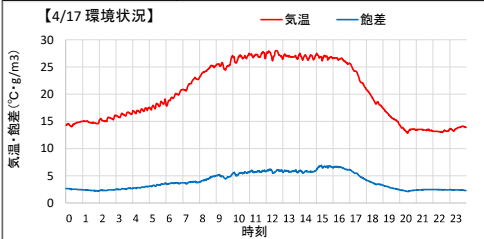
③ 2022/9/1 ④ 2023/5月



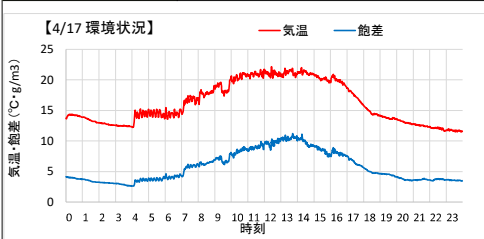
アールスメロン	準備中	準備中
	4/21 播種 5月中旬定植予定	

イチゴ		
【4/20 環境状況】		先月に引き続き強い日射や暑い日が続くため遮光を積極的に行っています。最近、pHが6.5を超えるためpHの調整も行っています。 給液量300cc/日、灌水回数5回、EC1.0前後で管理をしています。

① 第4 J ② 品種・作型・仕立て方比較試験 ③ 2022/10/6 ④ 2023/8/30

① 第4 I ② 排液リサイクルシステム実証試験 ③ 2022/8/19 ④ 2023/6月

キュウリ		
【4/17 環境状況】		品種は勇翔・プレスト・ニーナZ、台木は全てゆうゆうー輝黒。今後は、年1作・2作の比較や仕立て方の違いが年間収量に及ぼす影響を調査します。 4月中旬時点の、日平均気温20℃、DIF8.0程度、灌水量株あたり3000~4000ml(日射比例で日20~24回灌水)。引き続き草勢は旺盛で収量も順調。年2作型は3/20に片付けし3/22に再定植、4/22頃から収穫が始まっています。年2作でも作の合間が少ないのがココバッグの強み。

大玉トマト		
【4/17 環境状況】		給液量1500ml/株程度(日射比例)、排液率30%程度(排液は全量再利用)、給液EC7.0で管理中。4月に入り、ようやく糖度9度程度の高糖度になりました。遮熱塗料トランスパーを3月初旬に塗布してから、ハウス内が明らかに涼しくなり萎れも無く順調。今後はなるべく高糖度を維持したまま尻腐れをどこまで抑制できるかを見ていきます。



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp

① 第2 露地 ② ブロッコリー品種比較試験 ③ 2022/8/24-④ 2023/5月

ブロッコリー			◀ 5作目 (春作)
	<p>①年内作 7/27播種、8/25定植。 ②年またぎ作 8/19播種、9/15定植。 ③年明け作 9/5播種、9/30定植。 ④年度末作 9/20播種、10/14定植。 ⑤春作 12/26播種、2/17定植。</p>		

① 第3 M ② ③ ④

次作準備中	準備中	準備中

① 第6 露地 ② キャベツ品種比較試験 ③ 2022/8/19-④ 2023/4月

キャベツ			◀ 5作目
	<p>冬キャベツ 計4作型 ①年内作 栽培終了。 ②年またぎ作 栽培終了。 ③年明け作 栽培終了。 ④3-4月作 9/26定植。3/24 調査。</p> <p>春キャベツ 計1作 年明け作 栽培終了。</p> <p>初夏キャベツ 計1作 5-6月作 2/22定植。5月下旬収穫予定。</p>		



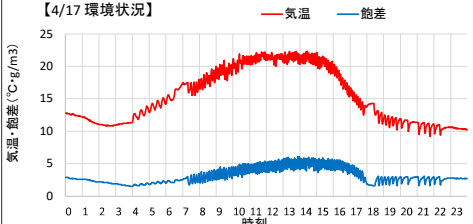
① 第6 露地 ② スイートコーン品種比較試験 ③ 2023/3/16 ④ 2023/7月

スイートコーン			◀ 1作目
	<p>【耕種概要】 ・スイートコーン品種比較① 14品種 播種 3/16日 直播(3粒)マルチ 収穫 6/20日頃</p> <p>・スイートコーン品種比較② 17品種 播種 4/12日 直播マルチ 収穫 7/10日頃</p>		

① 第7 露地 ② ③ 2023/4/13 ④

		
	<p>4/13 播種 7月 すき込み予定 8月中旬 キャベツ定植予定</p> <p>5品種の緑肥を播種しました。8月にキャベツを定植し、それぞれどのような効果があるか確認していきます。</p>	

① 第8 ② 高糖度栽培収益確認試験 ③ 2022/8/1~ ④ 2023/7月中旬

高糖度トマト		
	<p>【4/17 環境状況】</p>  <p>大玉トマト18段開花、ミニトマト26-30段付近開花。給液ECは設定上限の7.0(単肥処方)、排液ECは約20。排液率は10-20%程度。平均温度はやや低めの17°C前後で管理しています。3月初旬に遮熱塗料トランスパーを塗布しました。高糖度栽培ではなるべく遮光はしたくないので、4月下旬現在も遮光は一切していませんが、ハウス内は涼しい。現在は大玉8-9度、ミニ9-10度程度の糖度で安定しています。大玉は数段上の果実も尻腐れの気配無く、順調。</p>	



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
 愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
 URL <https://www.toyotane.co.jp/>
 E-mail info@toyotane.co.jp